

【研究課題名】

虫垂切除歴と大腸腫瘍発生との関連性に関する統計学的検討 -当院がん登録データを用いて-

【研究期間】

倫理審査承認日～平成 32 年 3 月 31 日

【研究の背景と目的】

近年、虫垂が腸管の粘膜免疫で重要な役割を果たしていることが明らかになり、炎症性腸疾患の制御にも重要な役割を果たしている組織であることが分かってきました。腫瘍もその発生や進展に免疫が強く関与していることから、虫垂が大腸腫瘍の発生や進展に関与している可能性が推測されます。がん診療連携拠点病院である当院には、多くの腫瘍に関するデータが保管されており、大腸についても昨年は 500 例を超える生検や手術症例が存在します。今回、当院のがん登録データを用いて、大腸腫瘍の方について虫垂切除歴の有無を調査し虫垂の有無と腫瘍の発生（良悪性、組織型、進行度等を含む）について統計学的関連性を調査します。

【研究対象者】

平成 30 年 1 月から平成 31 年 12 月の 2 年間に当院で診断された大腸腫瘍の方

【調査項目・方法】

診療録をもとに虫垂切除歴の有無、腫瘍の悪性と良性、組織型、進行度、性別、年齢、切除術後期間などをデータベース化します。尚、虫垂切除歴の不明あるいは曖昧な症例は除外します。

【個人情報の取り扱い】

この調査は集団としての特徴や傾向を見出すものであり集計結果に個人を特定する情報は含まれません。調査の過程で使用する個人情報の取り扱いについては入退室管理を行うがん登録室で管理し外部への持ち出しは行いません。

この研究にご自身の医療情報を利用してほしくない方は下記の問い合わせ先までお申し出下さい。その場合に患者様に不利益が生じることはありませんし今後の診療に影響することはありません。

【研究内容のお問い合わせ先】

研究責任者 がん登録室所属 酒井 恵

独立行政法人国立病院機構 嬉野医療センター

電話 0954-43-1120（内線 466） FAX 0954-42-2452